

Chapter 2 lesson plan

| | | | |
|------|-----|---|----------------------------|
| P-3 | | Ch.2 Vocabulary (Listen to C-tape) (p.26-30) | |
| 30 | (W) | Language 1 (p.35-38) | Vocab. quiz 1 |
| 10/2 | (F) | Language 2 (p.38-40) | Vocab. quiz 2 |
| 5 | (M) | Language 3 (p.41-43) | p.7-9 (II.B). 143-145(II) |
| P-4 | | Language 4 (p.44-46) | |
| 7 | (W) | Language 5 (p.47-49) | |
| 9 | (F) | Reading & Listening (p.49-52) | p.9 (III)-13, 145(III)-148 |
| 12 | (M) | Communication strategy & Dialogue (p.52-53, 30-33) | |
| P-5 | | Integration & Review (p.54) | |
| 14 | (W) | Midterm Examination | |

P-3 Ch.2 Vocabulary

A. Business matter(10 min)

1. 出席、教科書を持っているかどうかの確認。
2. パケットの各章の構成について説明。
 - (1) 教科書p.28から58まで、宿題はp.7-13とワークブックp.143-148(Lab)(2回に分ける)。
 - (2) Textbookの終わり(p.85-88)のvocabulary listは次の三つに分かれる。
 Essential vocabulary (p.85-87) (クイズに出るもの、覚えなければならない)
 Passive vocabulary (p.87) (教科書の中には出てくるが、特に覚える必要のないもの。)
 Supplementary vocabulary (p.88) (教科書の中には出ないが、授業のアクティビティーなどで参考になるもの、クイズにはでない)
 - (3) voc quizの範囲をシラバスの最後のページを見ながら確認。カタカナは振り仮名として打ってあるひらがなの方を覚えること。(長母音はカタカナの場合-を使えばいいことをいって、「あばーと」「そふぁー」「てーぶる」「ぬにゅーじーらんど」(ニュージーランドはテストにはでないがレコグニションができるように)は黒板に書いてやる。
 水曜日のクイズの範囲は
 Nouns (p.55: from *Asian studies* to *Spain*) (縦に「アジア研究」「あめりか」～「すべいん」まで)
 Pronouns (p.55)
 Copula verbs (p.56)
 Adverbs (p.56)
 金曜日のクイズの範囲は
 Nouns (p.55: from *major* to *exchange student*) (縦に「せんこう」～「りゅうがくせい」まで)
 Question words (p.56)
 Demonstrative words (p.56)
 Particles (p.56)
 Suffixes (p.56-57: only 5 suffixes, no need to memorize words with the suffixes) (つまり、「～がく、～ご～じん、～せい、～ねん」を覚えればよく、それぞれの単語ま読むだけで覚えなくてよい。)
 Conjunction (p.57)
- (4) 単語の勉強は、むらさきのテープ(それぞれの、ラボのチャプターの一番最初に単語が録音されています。)を聞いて何回も何回も言いながら、書くこと。いい覚え方は、まず、音で覚えて、最低一語につき、20回ぐらいは、書いて、おぼえること。このレベルでは、単語が一番のキーなので、時間をいっぱいかけて、単語を確実に覚えることをしつこく言うておく!!!
- (5) 宿題の中で、p.7-13はワークブックの練習でテープはいらぬ。p.143-148はラボの練習でテープ(紫のてーぶ)を聞く。宿題は、時間の余裕を持ってやること。それぞれの、レッスンの後に今日できる
- (6) 最初の宿題はp.7-9(II-B)&p.143-145(II)で、提出は10/5 (M)。次の宿題はp.145(III)-13 & p.145(III)-148で、提出は10/9 (F)。
- (7) grammar quizはCh.1はなし。そのかわり、このレッスンの終わりにmidterm exam 10/14 (W).Review Sessionは10/12&13のプラクティカムでやるので、大切なreview sheetを配るので絶対にやすまないように!
- (8) 各々のレッスンの前に必ず、シラバスに書いてある教科書のページ数をみて、家で読んでくる こと!

(9)今日のレッスンはp.26-30であることを板書

B. Vocabulary - A:く に (10 min)

- 1 .p.28の絵をOHPにしておく(新しいのを作ってください。去年と絵が変わっていますから)また国旗の絵を絵カードにしておく。(全部の国、オーストラリア、ニュージーランドも含めて、作ってください。)まずOHPの国旗を指しながら、国名をコーラスして、意味の確認。終わったら、国旗の絵カードを用い、国名を言わせる
- 2 教師が6つ位国名を言って、学生に国名を英語でかかせる。後で答え合わせ。(ニュージーランドはさけてよし)。
- 3 学生にディクテーションさせる。このとき、カタカナの国名は平仮名でかかせる。答え合わせをする。
- 4 p.28のAの質問にそれぞれ日本語で答えさせ、後で答えのチェック。

C. Vocabulary - B:くにとことば (10 min)

- 1 p.28のOHPで国名を再度確認した後、今度は、nationalityを導入。
Country name + じん = nationality. OHPを見せながらそれぞれの人のnationalityを言わせたりあてさせたりして、コーラス。次にそれぞれの学生にじぶんのnationalityをchain drillでいわせる。
- 2 国旗の絵カードを使ってnationalityをいわせる。
- 3 今度はCountry name + ご = language.を導入。p.29のOHPの絵の吹き出しのところを見せながら、Languageの言い方の練習。ただし英語は例外なので注意を要する。カナダは英語もフランス語もあるが、OHPはフランス語だけ出ている。どちらも練習のこと。
- 4 国旗の絵カードを使ってlanguageをいわせる。
- 5 p.29のBの質問に日本語で答えさせ、後で答えのチェック。

D.Vocabulary - せんせい、がくせい、がくねん (10 min)

- 1 p.29の単語を一緒によみながら、コーラスして、音と文字の確認。「数字」+ ねんせいになることを確認。(このとき「いち」「に」「さん」「よん」を知っているか聞いて、知らなければ、数字と一緒に黒板に書いてやる。e.g. 「1 : いち」
- 2 書いた数字の横に「~ねんせい」を書いて、学生にノートに書かせる。(「よねんせい」は「よんねんせい」じゃないことを注意。)そして、コーラスでまた、練習し、数字を指で示しながら、1~4年生まで何回も学年を学生にいわせる。次に自分の学年をチェーンドリルで言わせる。
- 3 つぎにstatusを導入。学生、大学生、留学生、先生とコーラスをさせる。教師がstatusを次々に言って、学生に自分がそのstatusだったら手を上げさせる。次にチェーンドリルでじぶんにあてはまるstatusをすべて言わせる。
- 4 p.29のCの質問にそれぞれ日本語で答えさせ、後で答えのチェック。

E.Vocabulary - せんこう (10 min)

- * p.30とp.58: Academic Majorを一枚のOHPに作る。(p.30の専攻には・をつけて、覚えるように区別しておいてください。)
- 1 OHPを見せながらp.30の単語のみ読んで、何度もコーラス。
 - 2 学生にディクテーションさせる。(このとき、カタカナは平仮名でかかせる。)答え合わせをする。
 - 3 .p.58の単語を見ながらじぶんのmajorを捜させ、言わせる。見つからなかったら学生に~は日本語で何と言いますかを使って教師に質問させる。それを黒板に書いてやる。
 - 4 p.30のDの質問にそれぞれ日本語で答えさせ、後で答えのチェック。

F.Vocabulary-ひと (5min)

- 1 p.30のリストを読む。これは人間にのみ使われることを確認(動物は違う)。他人についてのdescriptionの時は人を付ける。
- 2 1-4-Eの質問はしないほうがいいかも。それよりも、以下をいって、「おとこのひと」「おんなのひと」をいわせる。
Father -> おとこ, Mother -> おんな, Brother, Sister, President Clinton, Chikamatsu/Mahua Sensee, (Student)さん etc.

G.Voc Quiz 1の単語を一通り一緒に読んでコーラスして、クイズの確認。(5min)

家で勉強するときに、必ず、テープ(紫のテープ)を聞くように!

9/30 (W) Language 1 (p.35-38)

* * P-3(pracutimum)で使った新しいOHPと国旗カードはCh.2を通してつかいますから、全部作って、保存しておくように！(P-3を教えなかった先生も必ず、P-3/P-4/P-5を読んでください！！PRACTICUMの先生も必ず他のレッスンプランも読んで、事前に教材をそろえるように！* *

A . Business matter & warm up (5 min)

- 1 出欠、質問応答。
- 2 .Vocab. クイズ2の確認。(10/2: F)
3. 宿題 ワークブックのp.7& 143/144 (A&B)が今日のクラスの後できる。
- 4 宿題 1は10/5 (M) p.7-9(II-B) & p.143-145(II)-

B. Voc Quiz (5min) 時間が足りないようだったら、もう少しのばす。

C . Culture1 (p.33). ~さんの使い方など既に知っていることもあるので軽く確認。(5 min)

- (1) Last Name + さんは とくによそよそしいわけではなく、よく使われる。
- (2) 親しい友達、ホストファミリーが外国人を呼ぶ場合などには first name + さんが使われるが、親しくても目上や年上の人には余り使わない。
- (3) 家族の中では目敵に対してはkinship term 同等か下に対しては first name + さんが使われる。
- (4) 自分の名前には敬称を付けないこと。

D . Language I. XはYです 導入。(5 min)

- 1 p.35の例文を元に導入。XがSubjctであること、Yがそのdescriptionであることを確認。
- 2 .Vocab.の導入に使ったp.29の絵のOHP(一人)をつかって、~は~ですを使った構文の練習。始めは教師が~は~(人)ですのモデルを示し、学生にコーラスをさせて、その後個別にあてて練習させる。

C . Language I. ~は~です練習。(15 min)

1. 学生を一人前を出して、ほかの学生にその人について言わせ、板書。
例) すみすさんは がくせいです。すみすさんは さんねんせいです。すみすさんは あめりかじんです。
板書したものから、pronounに当たる名前は日本語では使わないので、省略させる練習。
まず重複した名詞をidentifyさせる。次に説明をくわえながら、省略していく。あめりか
例) スミスさんはがくせいです。すみすさんはさんねんせいです。すみすさんはアメリカじんです。
同じような練習を3,4 する。
- 2 p.36の話してみましようAをする。例と共にクラスでいくつか皆でやってタスクを確認した後ペアでやる。
- 3 1-37の話してみましようBをする。教師は教室を回りできたかどうか確認する。
- 4 1-37の話してみましようCをする。例を1,2,皆でやってタスクを確認した後ペアでやる。

D . Language I. ~は~じゃありません導入。(10 min)

- 1 1-35-IIの例文をもとに導入。Note 4の点について、軽く説明。今度は同じ絵(p.29)を使って、始めは教師がモデルを示し、学生にコーラスをさせる。例：私はアメリカ人じゃありません。すみすさんは日本人じゃありません。等。
- 2 教室にいる学生を使ってさらに~は~じゃありませんを使った構文の練習をコーラスでやる。chain drillで前の人が言った学年と違ったら、わたしは~じゃありませんをいわせ、正しい学年をわたしは~です。で言わせる。

E . Language I. ~は~じゃありません練習。(15 min)

- 1 .38-Dの話してみましようDをする。例をいくつか皆でやってタスクを確認した後ペアでやる。
- 2 p.38-Eの話してみましようEをする。例をいくつか皆でやってタスクを確認した後ペアでやる。最後に発表させる。(この部分はおわらなかつたら翌日warm-up でやる)

F. p.36の4点を読んで、軽く説明。

10/2 (F) Language 2 (p.38-40)

A. Businessmatter & warm up (5 min)

- 1 出欠。質問応答。
- 2 宿題 1 は10/5 (M) p.7-9(II-B) & p.143-145(II) (p.145は次の宿題でも使うので、返してもらったらきちんと保存するように！)
- 3 復習: p.38の話してみましょうEをもとに軽く自己紹介をさせる。

B. Culture 2 (p.34). (5 min.)軽く御辞儀の復習。握手の習慣についての復習。時間が足りなくなるようなら、最後に回すか、省く。

C. Voc quiz 2 (5 min)

D. Language II: XはYですか / はい、そうです。いいえ、そうじゃありません。 (第三者: he/she/it/theyに関する質問の導入と練習) (10 min)

- 1 p.38の例文をもとに、軽く説明、コーラスをする。始めに、すずきさんはがくせいですか / はい (ええ)、そうです、いいえ、そうじゃありません。の構文を導入。Question marker とはい / いいえの言い方の練習。
 - a. XがSubjctであること、Yがそのdescriptionであることを確認。
 - b. 「～か」がquestion markerであること、word orderがかわらないことを軽く説明。
- 2 学生の何人かを前に立たせて、～さんは～ですかとその人に関することをクラスに向かって質問し、クラスにははい、そうです / いいえ、そうじゃありませんを使って答えさせる。その後、アメリカや中国の有名な人を使ってその有名人達の国名などを使って同様に質問応答をする。
- 3 色々な人の絵の国旗に色をぬってわかりやすくし、黒板にはってその下に名前とstatus (学生、先生、一年生、等)を書いて、～さんは～ですかとその人に関することを学生に質問させる。教師が答える。このとき、国籍、social statusなどに限ること。

C. Language II: ～は～ですか / はい、そうです。いいえ、そうじゃありません。 (聞き手: YOUに関する質問の導入) と練習) (10 min)

- 1 1-14の例文をもとに、軽く説明、コーラスをする。こんどは鈴木さん(You, Mr. Suzuki)は学生ですか / ええ (はい)、そうです、いいえ、そうじゃありません。の構文を使って同じ文が聞き手(you)に対する質問にも使えることを確認する。コンテキストによって質問が誰にあてられたものか判断しなければならないことも確認。
2. 学生個人に対していくつか質問をする。
3. 学生を一人前に立たせて、今度はほかの学生にその学生に対して色々質問させる。その学生(クラスの前に立っている学生)ははい / いいえを使ってこたえる。同様に教師に対しても質問させ、教師が答える。
3. 「Yですか。」の導入: (p.38の最初の例文:すずきさんですか)

「_(student'sname)さんはがくせいですか?」と板書し、contextで主語が明らかなき、特に聞き手(YOU)質問しているときは「すずきさんがくせいですか?」になること。つまり、「Xは」の部分の省くことをせつめい。「がくせいですか」

学生にクラス全体で、以下を質問し答えさせる。e.g.学生ですか / 先生ですか / 日本人ですか / アメリカ人ですか。

また同じように、「Yですか。」は、相手の名前を確認する質問であることを説明。日本語ではYOUを言わないので、「Are you Mr. Suzuki?」が「Xはすずきさんですか。」になることを説明。前に出た学生を使って教師がロールプレイでモデルを見せる。前に出た学生は、はい、そうです / いいえ、そうじゃありません。～です。で答えさせる。全体でコーラス。
4. chain drill で自分の横座っている人の名前を確認させる。

Q: 「Yですか」

A: 「はい、そうです」 or 「いいえ、そうじゃありません。(わたしは)～です。」
5. p.39の例文のダイアログを読ませる。Notes 4点(p.39)を読ませて確認。

C. Language II: ～は～ですか / はい、そうです。いいえ、そうじゃありません。の練習(25 min)

1. p.39のはなしてみましようAを始めはモデルを見せてやらせる。その後、質問文を全員で読んで意味の確認、さらに答えさせる。

2. p.40のはなしてみましようBを始めはモデルを見せ、タスクをきちんと確認する。その後ペアでやらせる。
3. p.40のはなしてみましようCを始めはモデルを見せ、タスクをきちんと確認する。その後クラス全員でやらせる。あきそうだったら、下のような偽のアイデンティティカードをコピーして学生にわたしてやる。
「いいえ、そうじゃありません。」の時は、かならず、「～です。」を言うように指導。

| | |
|----------|-------|
| せんこう | ～ねんせい |
| あじあけんきゅう | 1ねんせい |

| | |
|--------|-------|
| せんこう | ～ねんせい |
| けいざいがく | 2ねんせい |

| | |
|------|-------|
| せんこう | ～ねんせい |
| ぶんがく | 3ねんせい |

| | |
|--------|-------|
| せんこう | ～ねんせい |
| けいえいがく | 4ねんせい |

| | |
|--------|-------|
| せんこう | ～ねんせい |
| けいえいがく | 2ねんせい |

| | |
|------|----------|
| せんこう | ～ねんせい |
| こうがく | だいがくいんせい |

| | |
|------|-------|
| せんこう | ～ねんせい |
| ぶんがく | 4ねんせい |

| | |
|--------|-------|
| せんこう | ～ねんせい |
| けいざいがく | 2ねんせい |

| | | | |
|---------------|---------|--------------------|---------|
| Chicago Univ. | teacher | Northwestern Univ. | teacher |
|---------------|---------|--------------------|---------|

| | | | |
|--------------|---------|-------------------|---------|
| DePaul Univ. | teacher | Univ. of Illinois | teacher |
|--------------|---------|-------------------|---------|

| | | | |
|-------------|---------|-------------|---------|
| Tokyo Univ. | student | Kyoto Univ. | student |
|-------------|---------|-------------|---------|

| | | | |
|--------------|---------|--------------|---------|
| Waseda Univ. | student | Oosaka Univ. | student |
|--------------|---------|--------------|---------|

| | | | |
|---------------|---------|--------------------|---------|
| Chicago Univ. | student | Northwestern Univ. | student |
|---------------|---------|--------------------|---------|

| | | | |
|--------------|---------|-------------------|---------|
| DePaul Univ. | student | Univ. of Illinois | student |
|--------------|---------|-------------------|---------|

| | | | |
|-------------|---------|-------------|---------|
| Tokyo Univ. | teacher | Kyoto Univ. | teacher |
|-------------|---------|-------------|---------|

| | | | |
|--------------|---------|--------------|---------|
| Waseda Univ. | teacher | Oosaka Univ. | teacher |
|--------------|---------|--------------|---------|

P-4 Language 4 (p.44-46)

A . Business matter & warm up (10 min)

- 1 . 出欠。質問応答。
- 2 . 宿題：10/9 (F): p.9(III)-13& p.145(III)-148(このプラクティカの後ワークブックのP.10&146/145(IV)ができる。(でも、宿題を朝のクラスで出しているのも無理。)
- 3 . 学生をペアにし、~の~を使って自分に関する文を3つ作って相手に言う。相手はメモを取って後で発表。
わたしは、~です。
~ねんせいです。
せんこうは、~です。

B . Language IV: WH-questionsの導入。(15 min)

- 1 . p.44の例文をもとにおなまえはなんですか。せんこうはなんですか。だいがくはどこ/どちらですか。などを導入。これもやはり、「XはYです。」の基本型であることをかくにん。
「おなまえはなんですか。」コーラスで何回かれんしゅう。その後、答え方は~ですであることを確認し、この場合も同じ質問が第三者にも聞き手(you)にも使えることも確認。学生に何人か初めは教師が聞き、その後、チェンドリル。
「せんこうはなんですか。」コーラスで何回かれんしゅう。学生に何人か初めは教師が聞き、その後、チェンドリル。
「なんねんせいですか。」コーラスで何回かれんしゅう。学生に何人か初めは教師が聞き、その後、チェンドリル。
* point だけ押さえて余りくどくど説明しないこと。つまり、「XはYです。」の構文のインフォメーションのところ(Y又はYの一部)が「なん」=whatになること、question markerの「か」を加えることを説明。ただし、大学名や会社名の場合は、「なん」よりも「どこ/どちら」をつかうこと。
e.g. せんこうは、ぶんがくです。->せんこうは、なんですか。
~さんは、いちねんせいです。->~さんは、なんねんせいですか。
(わたし)はちかまつです。->おなまえは、なんですか。
だいがくは、ディポール大学です。->だいがくは、どこ/どちらですか。
* ~なにじんですかは失礼に当たることがあるので、つかわせない。
- 2 . どこからきましたか。 どこ/どちらからいらっしゃいましたか。を導入。良く知らない人にはいらっしゃいましたかの方が妥当であることを確認。返事は~からきましたでいいことも確認。学生に何人か初めは教師が聞き、その後、チェンドリル。
知られていない町をいうときは、「オハイオのアクロンからきました。」という様に、「州の名前+の+町の名前」とする。順番を間違えないように!
- 3 . p.45の例のダイアログを全員で読み、意味の確認。文字と意味と音の練習として、ペアで読ませて練習させる。
- 4 . Notes (p.45)を読んで軽く説明する。

C . Language IV: Wh-questionsの練習。(35 min)

- 1 . p.46のはなしてみましようAをクラス全体でやる。はじめはモデルを見せて、皆で質問を作らせ、コーラス。
- 2 . 下のようなハンドアウトをp.46のはなしてみましようB, C, D のために作る。いずれもモデルを見せ、学生にタスクが分かったかどうか、例を出してやらせてみて、タスクを確認した後、席を立たせてやる。時間を一つのアクティビティにつき5、6分程度で区切って、答えの確認をする。ハンドアウトは次のクラスのアクティビティーにつかうので、学生になくさないようにしておく。
- 3 . 人探しゲーム。学年、出身地、大学、せんこうに関する質問のしかたをと答え方を軽く確認。色々な人に質問をする。カードを渡し自分のidentityとさがす相手のidentityについて説明。下のような例をOHPIしておき説明するとわかりやすい。(はやく探した人5人ぐらいに飴でもあげるとよい。)

Chapter 2 Language IV handout (はなしてみましようB/C/D)

はなしてみましよう B

Example A : ~さんは なんねんせいですか。
 B : ~ねんせいです。

| | |
|-----------------|-----|
| ~ねんせい | なまえ |
| 1ねんせい | |
| 2ねんせい | |
| 3ねんせい | |
| 4ねんせい | |
| Graduatestudent | |

*If you do not know the name of the person, you always ask him/her first, おなまえは なんですか。

はなしてみましよう C

Example A : ~さんの せんこうは なんですか。
 B : ~です。

Your major: _____

Names of the people with the same major: _____

はなしてみましよう D

Example Q : (~さんは) どこから きましたか。 / (~さんは) どちらから いらっしや
 いましたか。
 A 3 : ~ から きました。

| | なまえ | ~から きました |
|---|-----|----------|
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |

Chapter 2 Language IV 人探しゲーム

You are ...

| | |
|----------|-----------|
| なまえ | たなか |
| ～から きました | とうきょう |
| ～ねんせい | よねんせい |
| だいがく | とうきょうだいがく |
| せんこう | こうがく |

You are looking for...

| | |
|----------|-----------|
| なまえ | はやし |
| ～から きました | きょうと |
| ～ねんせい | にねんせい |
| だいがく | とうきょうだいがく |
| せんこう | けいざいがく |

You are ...

| | |
|----------|---------|
| なまえ | たなか |
| ～から きました | とうきょう |
| ～ねんせい | さんねんせい |
| だいがく | にほんだいがく |
| せんこう | こうがく |

You are looking for...

| | |
|----------|----------|
| なまえ | やまだ |
| ～から きました | とうきょう |
| ～ねんせい | よねんせい |
| だいがく | おおさかだいがく |
| せんこう | こうがく |

You are ...

| | |
|----------|-----------|
| なまえ | はやし |
| ～から きました | きょうと |
| ～ねんせい | にねんせい |
| だいがく | とうきょうだいがく |
| せんこう | けいざいがく |

You are looking for...

| | |
|----------|---------|
| なまえ | たなか |
| ～から きました | とうきょう |
| ～ねんせい | さんねんせい |
| だいがく | にほんだいがく |
| せんこう | こうがく |

You are ...

| | |
|----------|---------|
| なまえ | はやし |
| ～から きました | きょうと |
| ～ねんせい | にねんせい |
| だいがく | にほんだいがく |
| せんこう | けいえいがく |

You are looking for...

| | |
|----------|----------|
| なまえ | すずき |
| ～から きました | おおさか |
| ～ねんせい | いちねんせい |
| だいがく | きょうとだいがく |
| せんこう | ぶんがく |

You are ...

| | |
|----------|----------|
| なまえ | すずき |
| ～から きました | おおさか |
| ～ねんせい | いちねんせい |
| だいがく | きょうとだいがく |
| せんこう | ぶんがく |

You are looking for...

| | |
|----------|-----------|
| なまえ | たなか |
| ～から きました | とうきょう |
| ～ねんせい | よねんせい |
| だいがく | とうきょうだいがく |
| せんこう | こうがく |

You are ...

| | |
|----------|----------|
| なまえ | すずき |
| ～から きました | おおさか |
| ～ねんせい | いちねんせい |
| だいがく | きょうとだいがく |
| せんこう | けいざいがく |

You are looking for...

| | |
|----------|-----------|
| なまえ | やまだ |
| ～から きました | とうきょう |
| ～ねんせい | よねんせい |
| だいがく | とうきょうだいがく |
| せんこう | こうがく |

You are ...

| | |
|----------|----------|
| なまえ | やまだ |
| ～から きました | とうきょう |
| ～ねんせい | よねんせい |
| だいがく | おおさかだいがく |
| せんこう | こうがく |

You are looking for...

| | |
|----------|---------|
| なまえ | はやし |
| ～から きました | きょうと |
| ～ねんせい | にねんせい |
| だいがく | にほんだいがく |
| せんこう | けいえいがく |

You are ...

| |
|----------|
| なまえ |
| ～から きました |
| ～ねんせい |
| だいがく |
| せんこう |

You are looking for...

| |
|-----------|
| やまだ |
| とうきょう |
| よねんせい |
| とうきょうだいがく |
| こうがく |

| |
|----------|
| なまえ |
| ～から きました |
| ～ねんせい |
| だいがく |
| せんこう |

| |
|----------|
| すずき |
| おおさか |
| いちねんせい |
| きょうとだいがく |
| けいざいがく |

10/7 (W) Language 5 (p.47-49)

*** 必ず、今日宿題1を学生に返してください!! 金曜日に次の宿題の提出ですから!!! ***

A. Businessmatter & warm up (10 min)

1. 出欠。質問応答。
2. 宿題2 : 10/9 (F)金曜日 : p.9(III)-13 & p.145(III)-148
3. yes/no, wh-questionを取り混ぜて質問したりさせたりして軽く復習。
4. midtermはこのレッスンの後、来週の水曜日、10/14 (W)。
5. 10/12&13のプラクティカp-5は復習なのでとても大切!

B. Language V: Particles 「も」と「と」の導入。(20 min)

1. p.47-Aの例文をもとに「も」を導入する。絵を二枚セットで使用する。一枚の紙にある~は~ですで表される絵を書き、もう一枚の紙に~も~ですで表される絵を書く。例えば、
キムさんはかんこくじんです。(キムさんの顔、名前と韓国の旗)
リーさんもかんこくじんです。(リーさんの顔、名前と韓国の旗)

キムさんの顔、
名前と韓国の旗

リーさんの顔、
名前と韓国の旗

始めは、キムさんの顔、名前、旗の絵だけを見せ、「キムさんはかんこくじんです。」といい、その後、もう一枚の絵を加えて、「リーさんもかんこくじんです。」とモデルを見せる。同様の絵のセットを8つぐらいつくる。(旗の色を塗ってください)

軽く説明しコーラスしたあと、学生を何人か前/席に立たせて、教師が~は~ですのキューを出し、学生に~も~ですの文を作らせる。この練習では、まだ~と~はしない。

2. p.48の話してみましようAのチャートを使って、ペアで 、~は~です。~も~ですの練習をさせる。答えをチェック。名前が多く読むのに時間がかかるので、はじめにチャートp.48をOHPしておいて皆で読み方を確認すること。
3. p.47-Bの例文をもとに「と」を導入する。キムさんとリーさんの絵を使って「と」の説明をする。~は~です。~も~ですで使った絵を使い、~と~は~ですを作らせコーラス、その後個人にあてる。さいごに、そしてととの違いを説明する。ぜったいに、文章をつなぐときに、「と」をつかわないことを厳しく説明! 文と文は、「そして」であること!
4. p.48の話してみましようAのチャートをタスクを確認して、やらせる。そろそろペアが固定化してくるので、いつもペアを組まない人とさせる。
5. p.47のNotes を軽く説明。

B. Language V: Particles 「も」と「と」の練習。(30 min)

1. p.49の話してみましようBをやる。前日のハンドアウト(Language IV:B/C/D)のBのインフォメーションを使わせて、学年についてレポートさせる。なければ、あらかじめクラスの学生のリストを作っておいてそれを渡しやらせる。(これはinformation sheetを作れる) ペアか、クラス全体でテンポを上げて素早くやること。(ここで、「私と~さんのせんこうはーです。」であって「私のせんこうと~さんのせんこうは、ーです。」と「~のせんこう」をくりかえさなくてよいことを軽く説明。
2. p.49の話してみましようCをやる。前日のハンドアウト(Language IV:B/C/D)のCのインフォメーションを使わせて、専攻についてレポートさせる。
3. p.49の話してみましようDをやる。前日のハンドアウト(Language IV:B/C/D)のDのインフォメーションを使わせて、出身地についてレポートさせる。ここで~は~からきました。~も~からきました。をもう一度確認する。同様に~は~からきました。~も~からきましたから~と~は~からきましたを作らせる。
4. 変形Gap filling. 4人一組のグループにする。各学生は下のような4人についての不完全な情報をもっている。(ハンドアウト参照)。学生は次のようなパターンを使って、自分の表をうめていく。速くうめられた人が勝ち。

Language V: Particles 「も」 A

- A : リーさんは だいがくせいです。 すみすさんも だいがくせいですか。
 C : はい、そうです。orいいえ、そうじゃありません。
 B : ろべすさんはさんねんせいです。 リーさんも さんねんせいですか。
 D : はい、そうです。orいいえ、そうじゃありません。~です。

(A)

| なまえ | たなか | すみす | ろべす | リー |
|----------|-----|--------|--------|--------|
| Status | | | | だいがくせい |
| ~ねんせい | | | さんねんせい | |
| ~じん | | あめりかじん | | |
| せんこう | | | けいざいがく | |
| ~から きました | | | | Peking |

Language V: Particles 「も」 B

- A : リーさんは だいがくせいです。 すみすさんも だいがくせいですか。
 C : はい、そうです。orいいえ、そうじゃありません。~です。
 B : ろべすさんはさんねんせいです。 リーさんも さんねんせいですか。
 D : はい、そうです。orいいえ、そうじゃありません。~です。

(B)

| なまえ | たなか | すみす | ろべす | リー |
|----------|--------|--------|-------------|----|
| Status | | | だいがくせい | |
| ~ねんせい | いちねんせい | | | |
| ~じん | あめりかじん | | | |
| せんこう | | けいざいがく | | |
| ~から きました | | | Mexico City | |

Language V: Particles 「も」 C

- A: リーさんは だいがくせいです。 すみずさんも だいがくせいですか。
 C: はい、そうです。orいいえ、そうじゃありません。~です。
 B: ろべすさんはさんねんせいです。 リーさんも さんねんせいですか。
 D: はい、そうです。orいいえ、そうじゃありません。~です。

(C)

| なまえ | たなか | すみず | ろべす | リー |
|----------|------|----------|-----|----------|
| Status | | だいがくせい | | |
| ~ねんせい | | | | だいがくいんせい |
| ~じん | | | | ちゅうごくじん |
| せんこう | こうがく | | | |
| ~から きました | | New York | | |

Language V: Particles 「も」 D

- A: リーさんは だいがくせいです。 すみずさんも だいがくせいですか。
 C: はい、そうです。orいいえ、そうじゃありません。~です。
 B: ろべすさんはさんねんせいです。 リーさんも さんねんせいですか。
 D: はい、そうです。orいいえ、そうじゃありません。~です。

(D)

| なまえ | たなか | すみず | ろべす | リー |
|----------|--------|-------|--------|------|
| Status | だいがくせい | | | |
| ~ねんせい | | よねんせい | | |
| ~じん | | | めきしこじん | |
| せんこう | | | | ぶんがく |
| ~から きました | Tokyo | | | |

10/9 (F) Reading & Listening (p.49-52)

A . Businessmatter & warm up (5 min)

- 1 . 出欠。質問応答。
- 2 . 宿題の提出:p.9(III)-13 & 145(III)-148
- 3 . midtermはこのレッスンの後,来週の水曜日、10/14 (W)。

B . 読む練習 (p.50-51の本文のOHPを作ること)(20 min)

- 1 . p.50: 「よむまえに」の第三点"Most Japanese..."落を読んで、日本語のテキストについて軽く説明。(word boundaryがないことと、仮名漢字混じり文であること、漢字やカタカナがword boundaryを表す等。)
- 2 . p.50/51のテキストをOHPにしておいて、まず教師が読み、学生にも後について声をだして読ませる。(新しいOHPを必ず作ってください。古いのを使わないように！)
- 3 . p.51-Aの「わかりましたか」を一緒によんで、本文の焦点を明らかにする。そして、5～7分位時間を与え、学生に読ませ、答えを書かせる。
- 4 . 次にクラスで、Comprehension の答え合わせ。

C . 上手な聞き方 (5 min)

listening tapeは "student Ex.:orange tape"の方です。カセットプレーヤーは前日にセクレタリーに言って借りておくように。ちゃんと動くか確認しておくこと！テープのスクリプトはTeacher's manualsに書いてあります。必ずクラスにもっていくように。

- 1 . p.51の「じょうずなききかた」Listening for key wordsについて軽く説明。パニックしないようにいう。
- 2 . p.51のAはskip!

D . 鈴木さんの娘さん (15 min)

- 1 . p.52の言葉のリストの確認。タスクの確認。
- 2 . 始めは聞くだけ、2度目に聞いたときはメモを取らせ、答えが分かっているようだったら、ペアで答え合わせをさせる。無理なようだったら、3度目に聞かせ、ペアで答えを考えさせる。最後に、答え合わせをする。分からない人が多ければ、チャンクで止めて全員で聞いて答えを確認する。テープが早すぎる様なら、教師がスクリプトを読んでやる。

E . Dict-a-conversation (15 min) * * p.52/53のOHPを作ってください。

- 1 . 学生にはやり方が分からないので、やり方を説明しながら、p.52の1の田中とスミスの部分はモデルとしてクラス皆でやる。その際、まず田中の発話をラインごとに聞かせてディクテーションをさせる。一度で聞き分けられなかったら繰り返してもいい。テープが早すぎる様なら、教師がスクリプトを読んでやる。ディクテーションの答えを一文ずつ学生に黒板にかかせて確認。
- 2 . その後スミスの部分を自分で書き入れさせる(いつもスミスの所が考える所)。後で、周りと相談してもよい。
- 3 . OHPで答え合わせ。学生に言わせて、教師が書く。
- 3 . 学生全員がやり方が分かったら、今度は2の山田とスミスの会話をさせる。同様に山田の部分はディクテーションスミスの部分はあとでかんがえる練習。
- 4 . スミスの部分を考えさせる前に、山田の部分をクラスで答え合わせ。学生に黒板に書かせるか、教師がOHP又は黒板に板書するかは時間の都合によって。時間が足りないようなら、スミスの部分は家でやってくるように指導。

10/12 (M) Communication strategy & dialogue (p.52-53 & 30-33)

A . Businessmatter & warm up (10 min)

- 1 . 出欠。質問応答。
- 2 . midtermは今週の水曜日曜日、10/14 (M)。
- 3 . 今日 / 明日のプラクティカは復習と練習問題をするので、とても大切！！ (今回の試験の中心は Ch.2ですが、Ch.1は、かなが全部書けるようになっていないことと、表現(introduction, greeting, how to ask Japanese/English words, Making request, appology, etc.)をぜんぶおぼえておくように！前に渡したexpression review sheetを勉強するように！ (Ch.1のかな練習の単語は一切覚えなくていいです。)
- 4 . Dict-a-conversationの2をもう一度聞かせて答え合わせをする。学生には赤で自分の答えを直させる。

B . あいづち(5 min)

- 1 . p.53をもとにあいづちのせつめい。もしテレビのインタビューショーのビデオ等がいいのがあれば、学生に見せる。(ビデオを見せるときは、24時間前にオーディオラボに電話で予約が必要。)

C . ダイアログ(25 min)

- 1 . p.30-Aの1と2をやる。
- 2 . p.30/31-Bのダイアログの聞き方の説明を読む。テープはオレンジのテープ。
- 3 . p.31のアリスさんとリーさんの顔の漫画を見て前半の登場人物の確認。漫画を見ながらテープの前半を聞かせる。
- 4 . 会話文がどの漫画のフレームに対応するかチェック。多少あいまいなフレームがあるのであらかじめフレームの確認をすること。意味の確認。
- 4 . クラス全体でコーラスでそれぞれの文を読み、学生一人一人に訳させる。(1-8に英語訳があるがそれは後で教えてやる。)
- 5 . p.33のcomprehensionをする。
- 6 . p.32の漫画を見ながらテープの後半を聞かせる。会話文がどの漫画のフレームに対応するかチェック。登場人物と意味の確認。
- 7 . クラス全体でコーラスでそれぞれの文を読み、学生一人一人に訳させる。
- 8 . (optional)時間があるようなら、前半、後半のダイアログの大切な表現をポストイットで隠して、OHPで見せて、学生に答えを考えさせる。

B . そうごうれんしゅう：インタビュー(15 min)

- 1 . p.54のインタビューのタスクを確認。挨拶を質問の内容を学生に考えさせて確認。
- 2 . 7,8分で出来るだけたくさんの人にインタビューをする。

P-5 Integration & Review (p.54)

A . Businessmatter & warm up (15 min)

- 1 . 出欠。質問応答。
- 2 . クラスの弱い所を補強する。次の質問のしかたをチェーンドリルなどを用いてざっと復習する。
おなまえはなんですか。
なんねんせいですか。
せんこうはなんですか。
だいがくはどちら / どこですか。
どちらからいらっしゃいましたか。 / どこからきましたか。
アメリカ人ですか。にほんごのせんこうですか。 etc.
- 3 . Midtermについての説明。(一応月曜日のクラスですすでに、説明してある。)

B . そうごうれんしゅう : ロールプレー (5min)

p.54のロールプレーを軽くクラスでやって確認。

C. Review Session (40 min)

Review sheet をする。また、宿題で出来ていなかったところの説明、テストのキーになる項目の説明、学生からの質問等々に答える。

にほんご 1 0 1 Review for Midterm Exam

1. Write about yourself.

Name _____

Nationality _____

Year _____

Major _____

Hometown: _____

2. Make a question for the following answers.

Q : _____。

A : すみすです。

Q : _____。

A : いちねんせいです。

Q : _____。

A : けいえいがくです。

Q : _____。

A : かんこくから きました。

3. Answer the following questions.

Q : がくせいですか。

A : _____。

Q : にほんじんですか。

A : _____。

4. Fill in the blank with appropriate particles, such as

は / も / の / と / から .

name ありす みちこ

school U of Tokyo U of Tokyo

year freshman freshman

major Asian Studies Literature

ありすさん () だいがくせい です。みちこさん () だいがくせい です。ありすさん () みちこさん () いちねんせい です。ありすさん () せんこう () あじあけんきゅう です。ありすさん () みちこさん () だいがくはしかごだいがく です。

5. Go over all the expressions you have learned in Ch.1 (e.g, greeting, asking for words, request, etc.).